

(2) 農林総合研究センター森林研究所における平成20年度試験研究課題一覧表

I 農林水産業の生産力向上

- (1) 生産を高めるための栽培・飼育・繁殖・養殖等、千葉県独自の生産技術体系の開発
 - 11 農林作物の野生鳥獣被害対策軽減化技術の開発
 - ① 森林・林業に対する獣類被害実態の解明と被害軽減化技術の検討 (18～21)
 - 12 特用林産物の安定生産の確立
 - ② きのこと栽培におけるキノコバエの被害防除技術の確立 (17～21)
- (2) 生産性向上を支える品種の改良開発
 - 20 林業用種苗の安定生産技術の確立
 - ③ 林業用優良品種の選抜と特性把握 (18～22)
 - ④ 森林の諸機能発揮に適した樹種の選抜 (18～22)
 - ⑤ 花粉の少ないヒノキの選抜 (13～22)

II 県民生活を守る環境に調和した農林水産業の推進

- (1) 県民の暮らしを守る環境保全型農林業技術の開発
 - 26 スギ・ヒノキ花粉の飛散抑制技術の確立
 - ⑥ スギ若齢林の間伐による花粉飛散抑制技術の確立 (19～22)
 - ⑦ 花粉飛散量予測技術の確立 (13～22)
- (2) バイオマス等の有効利用技術の開発
 - 28 地域資源・未利用資源のリサイクル技術の開発
 - ⑧ 木質バイオマスから生産される炭化物の用途開発 (16～21)
 - ⑨ 未利用木質バイオマスの利活用 (18～22)

IV 農林水産資源の維持増大とその持続的利用

- (1) 農林水産資源の維持管理技術の開発
 - 33 森林の病虫害対策技術の確立
 - ⑩ 環境にやさしい松枯れ防止技術の開発 (13～22)
 - ⑪ 浸透移行性薬剤を使用した塗布等による害虫防除技術の開発 (18～22)

V 消費者ニーズに対応した農林水産物生産・流通・加工システムの構築

- (2) 食の安全・安心の確保と機能性を付与する技術開発
 - 38 菌床きのこの安定生産技術の開発
 - ⑫ 付加価値の高い菌床きのこの安定生産技術の開発 (15～22)

VI 県民の暮らしを豊かにする農林水産業の有する多面的機能の発揮

- (1) 森林・農地・水域の持つ多面的機能の評価と維持増進技術の確立
 - 41 森林の水土保全及び防災機能維持増進技術の確立
 - ⑬ 海岸低湿地に造成した海岸防災林管理技術の確立 (16～22)
 - ⑭ 海岸防災林に混生するニセアカシアの管理方法の検討 (18～22)
 - 42 森林環境の保全及び森林の活用技術の開発
 - ⑮ 里山の利用目的別整備技術の確立 (13～22)

- ⑩ 竹林拡大過程の解明と対策の検討 (19～21)
- (2) 農山漁村の持つ保健休養・やすらぎ機能等の促進技術の開発
 - 44 森林療法に効果的な森づくり技術の開発
 - ⑪ 森林療法に効果的な森づくりの方向性の検討 (17～21)

注1) I～VIは県農林水産業試験研究推進方針(平成18年度～22年度)の基本目標、(1)～(3)は推進方針中の重点化の方向、11、12・・・は推進方針中の大課題

注2) ①～⑰は研究課題、()内は研究期間

(3) 平成20年度林業普及指導員の活動実績

(単位：時間)

区分	普及指導活動				調査研究	情報収集	連絡調整		普及指導の準備	普及指導に係る報告	研修	その他	計
	直接		間接 (電話等)	小計			試験研究・教育機関	市町村その他の関係機関					
	個別指導	集団指導											
計	3,762	2,709	956	7,427	319	1,075	320	1,156	5,158	1,047	1,083	2,975	20,560
普及対象別 内訳	林家	2,398	467	506	3,371								
	会社等の事業体	281	330	50	661								
	市町村	110	22	28	160								
	森林組合	499	161	67	727								
	林研グループ	178	459	208	845								
	その他	296	1,270	97	1,663								

注) ・平成16年度の森林法改正により、平成17年4月から従来の林業専門技術員と林業改良指導員の資格が「林業普及指導員」に一元化された。

・平成20年度の林業普及指導職員数は、普及指導員10名、普及技術員1名の計11名である。

(4) 平成20年度林業普及指導職員を対象とした研修

研修の名称	目的等	対象者	人員	時期	場所	講師	研修等の内容
特技研修	森林計画制度と森林施業計画の作成並びに間伐計画に係る知識と技術の向上	林業普及指導員 林業普及技術員	8人	H20.6.17	長生農林振興センター(茂原市) 間伐対象林分(長柄町)	森林課 並木副主幹 先崎副主査	森林計画制度の概要 森林施業計画の作成 間伐計画の実際
	森林吸収源対策森林整備事業に係る知識の向上1	林業普及技術員 林業普及指導員	8人	H20.7.2	森林会館(千葉市)	森林課 栗山副主幹 千葉農林振興センター-恵普及指導員	森林吸収源対策森林整備と普及指導との係り等について討議ほか
	森林吸収源対策森林整備事業に係る知識の向上2	林業普及指導員 林業普及技術員	10人	H20.8.1	長生農林振興センター(茂原市)	森林課 小椋主幹	森林吸収源対策に係る全体討議ほか
	チェンソーの基本操作と掛かり木処理技術の向上	林業普及指導員 林業普及技術員	8人	H21.1.16	君津市草牛	森林課 小椋主幹 県林研会員 鶴見上席普及指導員	チェンソーの基本操作 間伐実習 掛かり木処理の実際

(5) 千葉県林業を育てる会

回数	年度	視察研修先	内 容	参加者数
1	H 8	栃木県大田原市	間伐材加工、木材共販所	78名
2	H 9	愛知県額田町	林業経営、間伐施業	72名
3	H10	山梨県南部町	富士川林業地（林業経営、木材共販所、竹炭）	73名
4	H11	福島県いわき市	緑川平寿の林業経営	70名
5	H12	宮城県鳴子町、 山形県金山町	中新田エノキタケの生産及び高友林業100年の主伐 金山林業 間伐、山村活性化等森林組合の取組み	157名
6	H13	富山県立山町、 氷見市仏生寺	タテヤマスギ林業地（大スギ、長伐期複層林） ボカスギ林業地（さし穂林業）	85名
7	H14	群馬県利根郡利根村、 沼田市	高性能林業機械等視察、（林野庁 森林技術総合研修所 林業機械化センター） 菌床きのこ栽培技術研修（森産業（株）沼田工場）	71名
8	H15	長野県中野市、長野市	列状間伐（カラマツ） 北辰木材流通加工センター	71名
9	H16	静岡県天竜市 静岡県浜北市	天竜市森林組合（小径木加工場） 静岡県森林組合連合会（原木市場）	71名
10	H17	北海道千歳市	MH グルーラム協同組合（LVL） 千歳林業株式会社（低コスト林業経営）	41名
11	H18	埼玉県飯能市	西川林業（林業経営）、木工品製作・販売所、 木質ペレット製造施設	43名
12	H19	栃木県塩谷郡塩谷町、 同矢板市	（有）渡辺製材所 山縣農場、たかはら森林組合	28名
13	H20	群馬県藤岡市	多野東部森林組合	35名

(6) 千葉県指導林家・林業士認定状況（平成21年3月末現在）

（単位：人）

普及指導区名	指 導 林 家	林 業 士	計	備 考
千 葉	8	10	18	女性1名（林業士）
東 葛 飾	1	1	2	女性1名（林業士）
印 旛	5	6	11	
香 取	1	4	5	
海 匝	2	3	5	女性1名（林業士）
山 武	6	13	19	女性1名（林業士）
長 生	8	4	12	女性1名（林業士）
夷 隅	7	6	13	女性1名（林業士）
安 房	8	7	15	女性1名（指導林家）
君 津	5	10	15	
計	51	64	115	女性7名

(7) 林業機械・器具の現況

(平成20年3月31日現在)

番号	機械種名		備考	単位	所有区分別数量	
					地方公共団体	学校
1-1	索道	索道重量式		セット	0	0
1-2		索道動力式		セット	0	0
2-1	集材機	小型集材機	動力10ps未満	台	0	0
2-2		大型集材機	動力10ps以上	台	0	0
3	モノケーブル		ジグザク集材施設	台	0	1
4	リモコンウィンチ		リモコン、ラジコンによる可搬式木寄せ機	台	1	0
5	自走式搬器			台	2	0
6	モノレール		懸垂式含む	台	0	1
7-1	運材車	動力20ps未満のもの		台	0	0
7-2		動力20ps以上のもの		台	0	0
8-1	ホイールタイプトラクタ		林内で集材等の作業を行うホイールタイプのトラクタ	台	0	0
8-2	クローラタイプトラクタ		上記でクローラタイプのもの	台	0	0
9	育林用トラクタ		主として地拵え等の育林作業用	台	0	0
10	フォークリフト			台	3	0
11	フォークローダ			台	0	0
12-1	クレーン	運材機能なし	トラッククレーン、ホイールクレーン等	台	0	0
12-2		運材機能あり	クレーン付きトラック	台	0	0
13-1	グラップル	運材機能なし	グラップルローダ作業車	台	0	0
13-2		運材機能あり	グラップルローダ付きトラック	台	0	0
14	トラクタショベル		搬出、育林用等に係わる土工用	台	0	0
15	ショベル系掘削機械		搬出、育林用等に係わる土工用	台	2	0
16	チェーンソー			台	50	5
17	チェーンソーリモコン装置		リモコンチェーンソー架台	台	0	0
18	刈払機		携帯式刈払機	台	26	5
19	植穴堀機			台	0	0
20	動力枝打機	自動木登り式		台	2	1
21		背負い式等の上記以外のもの		台	0	0
22	苗畑用トラクタ			台	0	0
23	樹木粉碎機		伐倒木、伐根、枝条等を粉碎する機械	台	1	0
24	フェラーバンチャ		立木を伐倒、集積する自走式機械	台	0	0
25	スキッド		牽引式集材専用のトラクタ	台	0	0
26	プロセッサ		枝払い・玉切りする自走式機械	台	2	0
27	ハーベスタ		伐倒・枝払い・玉切りする自走機械	台	0	0
28	フォワーダ		積載式集材専用車両	台	1	0
29	タワーヤーダ		元柱を具備した自走式機械	台	2	0
30	スイングヤーダ		簡易索張方式に対応し、かつ旋回可能なブームを装備する集材機械	台	0	0
31	その他の高性能林業機械		従来の高性能林業機械上記7機種以外の高性能林業機械	台	0	0
32	グラップルソー		巻立・玉切り自走式機械	台	1	0

注) 対象の林業機械は、主として伐採、搬出、育林に使用されるもの。(製材工場で使用されるものは含まない。)

会社	所有区分別数量						
	森林組合	その他組合等		集落	研究機関	個人	合計
		支援センター	その他				
28	0	0	0	0	0	3	31
1	1	0	0	0	0	2	4
22	3	0	0	0	1	28	54
23	2	0	0	0	0	14	39
0	1	0	1	1	0	10	14
1	7	0	0	0	0	16	25
2	1	0	0	0	0	0	5
0	0	0	0	0	0	0	1
7	5	0	7	0	0	39	58
2	0	0	0	0	0	61	63
1	1	0	0	0	0	2	4
2	0	0	0	0	0	0	2
0	0	0	0	0	0	1	1
105	7	0	1	0	1	42	159
21	1	0	0	0	0	2	24
23	0	0	0	0	0	7	30
88	8	0	1	0	0	31	128
5	2	0	0	0	0	3	10
3	0	0	0	0	0	4	7
7	0	0	0	0	0	1	8
20	7	0	4	0	0	21	54
764	64	7	84	3	4	3,142	4,123
0	0	0	0	0	0	0	0
235	41	0	17	0	5	4,400	4,729
1	5	0	2	0	0	1	9
0	13	0	4	0	1	77	98
0	2	0	0	0	0	7	9
0	0	0	0	0	1	149	150
9	4	0	0	0	1	1	16
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	2
0	0	0	0	0	0	0	2
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	4

(8) 平成20年度教育の森の利用状況

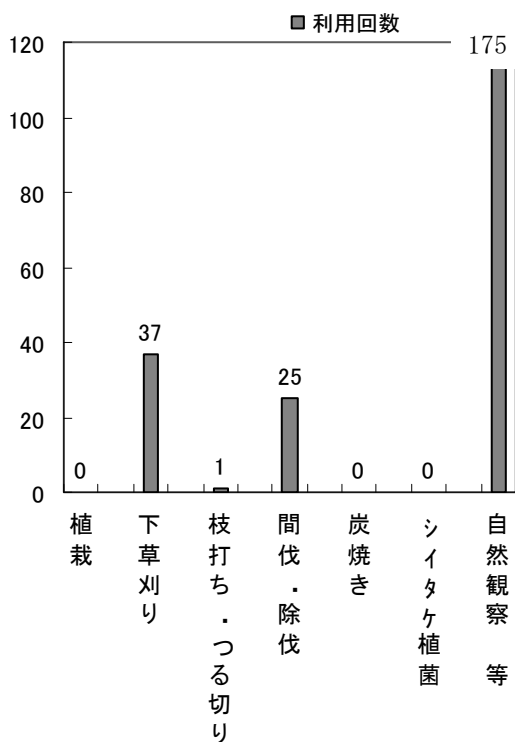
(平成21年3月31日現在)

農林振興センター名	利用回数			利用人数		
	学校の利用	その他の利用	計	学校の利用	その他の利用	計
千葉	1	89	90	40	536	576
東葛飾	0	13	13	0	160	160
印旛	4	0	4	277	0	277
香取	7	0	7	252	0	252
海匝	3	3	6	98	94	192
山武	2	12	14	58	330	388
長生	2	24	26	70	470	540
夷隅	13	0	13	1,231	0	1,231
安房	3	4	7	17	39	56
君津	58	0	58	2,707	0	2,707
計	93	145	238	4,750	1,629	6,379

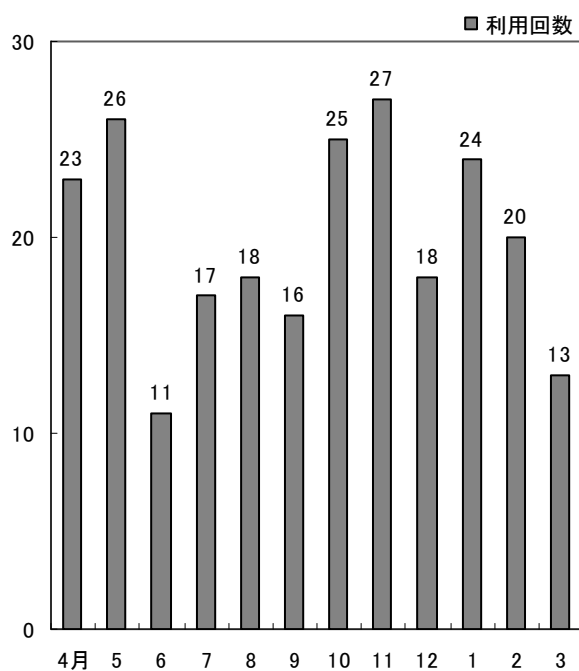
注1) 学校の利用は主として授業時間での利用

2) その他の利用とは1)以外の利用を指す

【利用形態別内訳】



【月別利用実績】



(9) 教育の森の認定数

(平成21年3月31日現在)

農林振興 センター名	年度別認定数																
	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	累計
千葉						(4)	(3)	(3)	(2)	(1)	(3)	(3)	(3)	(2)	(1)	(3)	
	4	3	3	2	1												12
東葛飾						(2)	(2)				(2)	(2)				(3)	
	2	2	—	—	—						1						5
印旛						(5)	(4)	(2)	(1)	(2)	(4)	(3)	(2)			(12)	
	5	4	3	2	2				1								12
香取						(4)	(3)				(6)	(3)		(1)		(3)	
	4	6	2	1	—		2		1		1	1					8
海匝						(3)	(3)		(2)	(1)	(3)	(2)				(1)	
	3	3	—	2	1						1	1			1		5
山武						(4)	(5)		(1)	(1)	(5)	(6)		(2)	(1)	(5)	
	5	5	1	2	1	1	1		1		1				2		16
長生						(5)	(5)	(2)	(2)	(1)	(4)	(3)	(2)	(2)	(1)	(4)	
	5	5	3	2	1								1	1		1	15
夷隅						(1)	(3)	(1)		(1)	(1)	(1)	(1)		(2)		
	2	4	1	—	1					1							4
安房						(5)	(4)	(2)	(1)	(1)	(4)	(3)	(1)	(1)	(2)	(3)	
	5	5	2	2	1			1		1							10
君津						(4)	(4)	(4)	(3)	(1)	(6)	(5)	(4)	(3)	(1)	(5)	
	4	4	4	3	1	2	1				1				1		19
計						(37)	(36)	(14)	(12)	(9)	(38)	(31)	(13)	(11)	(8)	(39)	
	39	41	19	16	9	3	4	1	3	2	5	2	1	1	4	1	106
累計	39	80	99	115	124	125	124	120	119	121	124	117	115	113	114	106	

(10) 教育の森の利用実績の推移

農林振興 センター名	年度別利用回数							年度別利用人数						
	5~15	16	17	18	19	20	計	11~15	16	17	18	19	20	計
千葉	186	5	24	181	343	90	829	1,305	97	189	1,288	1,641	576	5,096
東葛飾	11	6	7	13	13	13	63	338	158	310	230	233	160	1,429
印旛	82	9	0	3	4	4	102	7,707	473	0	338	431	277	9,226
香取	14	1	5	6	7	7	40	200	10	223	210	330	252	1,225
海匝	21	0	1	1	3	6	32	281	0	10	15	170	192	668
山武	129	8	11	9	22	14	193	2,810	466	310	634	649	388	5,257
長生	34	17	21	20	18	26	136	1,289	510	616	666	562	540	4,183
夷隅	35	13	13	13	13	13	100	1,851	2,055	2,462	2,046	1,664	1,231	11,309
安房	26	14	11	9	6	7	73	621	135	127	102	41	56	1,082
君津	342	77	120	91	94	58	782	20,367	3,585	4,925	4,057	3,378	2,707	39,019
計	880	150	213	346	523	238	2,350	36,769	7,489	9,172	9,586	9,099	6,379	78,494

平成10年以前の利用人数はデータがなく不明。